

イベントレポート

芸術鑑賞日帰りバス旅行

日 時：6月11日(木) 7:00～18:30 参加人数：42名	行程 中村キース・ヘリング美術館 → フルーツパーク富士屋ホテル → 里の駅いちのみや → 久保田一竹美術館 → ハーブ庭園旅日記 富士河口湖庭園
--	---

作品、建物、自然が響き合う美術館へ

小淵沢の豊かな自然の中、白いヤマボウシの花に迎えられて、芸術鑑賞の旅は始まりました。訪問したのは、**中村キース・ヘリング美術館**と**久保田一竹美術館**。どちらも作品だけでなく、建物や庭、周囲の自然までも一体となり心に迫ってくる美術館でした。そして、作品に出会い、建物に驚き、自然に癒やされ、少し希望をもらって帰る旅となりました。

色彩とリズムが踊る 中村キース・ヘリング美術館
緑陰の中に現れる現代的な建物。暗い通路を抜けると、鮮やかな色彩とリズムに満ちた作品が、目に飛び込んできます。シンプルな線で描かれながらも躍動感があり、音楽まで聞こえてくるような作品でした。社会的な重いテーマを扱いながら、作品の前に立つと、「生きる力」のような明るさが湧いてきます。新しい発見の多い美術館でした。



中村キース・ヘリング美術館



久保田一竹美術館



昼食 フルーツパーク富士屋ホテル



里の駅いちのみや

山梨の味覚を堪能
昼食には、**フルーツパーク富士屋ホテル**でほうとうやデザートなどをいただき、山梨らしい味わいを楽しみました。**里の駅いちのみや**では、新鮮な野菜や果物が並び、思わず財布の紐が緩むひとときでした。

息を呑む辻が花染め 久保田一竹美術館
インドの古城に使われていた扉をくぐると、静謐な池のほとりに出ました。そこでは、モリアオガエルの鳴き声があたりに響いていました。ガウディを思わせる曲線美の建物を抜け、展示室に入った瞬間、思わずため息がもれました。室町時代の「辻が花染め」を現代によみがえらせた一竹の着物は、絵画のような存在感を放っていました。

心が明るくなる一日
帰路に立ち寄った**ハーブ庭園旅日記**では、案内スタッフの軽妙な話とハーブの香りで笑顔が絶えませんでした。一日を振り返って、心に明るい余韻を残す旅となりました。
(ミュージッククラブ運営委員 安藤 宏通)



ハーブ庭園旅日記
富士河口湖庭園

佐野美術館 展覧会情報

さのび と とくび 名刀のいろは
2026年 **9月5日(土) - 10月18日(日)**
隙あらば猫
町田尚子絵本原画展
2026年 **10月24日(土) - 12月20日(日)**

榛原一はいばらの藝術とデザイン
HAIBARA Art & Design 和紙がおりなす日本の美
2027年 **1月8日(金) - 4月4日(日)**
(2月15日(月)～2月19日(金)は休館)
〈同時展示〉
郷土ゆかりの日本画家たち
1月8日(金) - 2月14日(日)
2月20日(土) - 4月4日(日)
人形日和

ミュージッククラブ会員 募集中 ●正会員：1万円 ●ゴールド会員：2万円 ●特別会員：10万円	ミュージッククラブでは会員を随時募集しています。年間パスポートの発行やショップでのお買物1割引(商品によっては割引出来ない場合があります)、会員限定イベントの開催など様々な特典があります。詳しくはミュージッククラブ事務局(TEL055-975-7278)までお問い合わせください。	新規入会者(2026年4月1日～) 正 会 員 足立守、岩崎奈百合、大場茂之、小池晶子、鈴木俊明、鈴木真、日本料理 蝶や 奈良孝太郎、行政書士 ニノ宮事務所 ニノ宮登、株式会社双西 服部光弥、福田淑子、宮澤淳子、柳詰けい子、吉田美和子 ※敬称略、50音順
---	--	---

ミューズ交歓

佐野美術館と皆さまをつなぐ



2026年度下半期 イベント情報

2026年度下半期に開催されるイベントをご紹介します。
皆さまのご参加をお待ちしております。



「十三夜の宴」

日 時：10月23日(金)
17:00受付・開場
17:30開宴
会 費：会員4,400円
一般6,600円
定 員：70名(要申込・先着順)
会 場：佐野美術館庭園内
※雨天の場合は中止
出 演：楽団TONTOS

十三夜の宴 10月23日(金)

毎年十三夜の夜に、“月と音楽をたのしむ演奏会”をテーマに開催する「十三夜の宴」。

今年はファミリーオーケストラ 楽団TONTOS（トントス）さんをお招きします。TONTOSとはスペイン語で「おばかさんたち」という意味。家族で奏でる笑顔あふれる音楽をお楽しみください。演奏後には懇親会や恒例の抽選会を行います。バイキング形式のあたたかい食事やお酒のご用意もございます。ご家族やお友達とのご参加をお待ちしております。

館蔵品特別鑑賞講座

佐野美術館の収蔵品を、学芸員の解説とともにじっくりとご鑑賞いただく「館蔵品特別鑑賞講座」。

1回目は恒例の日本刀編です。展示ケースで隔てることなく、刀身の美しさを間近でご堪能いただける貴重な機会です。

2回目は装身具（簪などの身に着ける飾り）編です。職人による繊細且つ緻密な装飾をじっくりとご覧ください。

皆さまのご参加をお待ちしております。

2025年度の様子
(日本刀編)

日本刀編

日時：11月21日(土) 14:00～15:30
会費：会員3,300円／一般4,400円
定員：15名(要申込・先着順)
会場：佐野美術館講堂

装身具編

日時：2027年2月13日(土) 14:00～15:30
会費：会員2,200円／一般3,300円
定員：15名(要申込・先着順)
会場：佐野美術館講堂

2025年度の様子
(「花の絵とともに」編)

会員のつどい

日時：4月29日(水・祝) 15:00～18:00
会場：佐野美術館講堂

参加人数：34名

本年度のミューズクラブ総会「会員のつどい」が開催されました。議事では前年度の事業報告および新年度計画が滞りなく承認され、新たに約30名の新会員を迎えて新年度の好調なスタートを切りました。

総会後の第二部では、この秋に真打昇進が控えている落語家・桃月庵こはくさんをお迎えし、二席ご披露いただきました。一席目は、ずる賢い子供が小気味よく小銭をだまし取る人気演目「真田小僧」。二席目は、嫌いな客を避けるために嘘を重ね、ついには「死亡説」まで捏造して墓参りに行く羽目になるドタバタ劇「お見立て」です。

寄席とは一味違う、間近に設置された高座ならではの臨場感があり、こはくさんの細やかな仕草や迫力のある語り口に、一同引き込まれました。

その後に行われた懇親会にはこはくさんにもご参加いただき、終始華やかな雰囲気の中、参加者一同で楽しい春のひとときを過ごしました。

(ミューズクラブ正会員 芹澤 貴清 様)



ファミリーオーケストラ 楽団TONTOS

【プロフィール】

2015年結成。父・母・姉・妹・叔父 で構成される5人組。
クラシックをはじめ様々なジャンルの曲をTONTOSならではの楽器の組み合わせとアレンジでお届け。ファミリー楽団として全国各地で演奏中。

上：叔父 早川 真(パーカッション)

ロックからジャズ・ポップス・クラシックまで、様々なジャンルのサポートをこなすドラマー。年間のステージ数は全国各地で200を超える。ヤマハ音楽教室ドラム講師。

中上：父 清水 謙二(バイオリン)

東京芸術大学卒、NHK交響楽団に入団。第二バイオリン次席奏者を務める。現在は「清水音楽工房」を主宰し、演奏活動と共に後進の指導にもあたる。

中：妹 烏野 彩智(チェロ)

子供の頃からチェロを習うも反抗期に入りやめる。22歳からもう一度学び直し、現在はバイオリニストの夫と共に函館と神奈川の2拠点で活動をしている。

中下：母 清水 紀子(ピアノ)

東京芸術大学卒。夫と共に清水音楽工房を主宰。室内楽および声楽など、アンサンブルピアニストとして活動。ユニークな方法での後進の指導にも定評がある。

下：姉 望月 かおり(パーカッション)

オーケストラやアンサンブルなどの演奏活動の他、幼稚園・保育園への出張リズム教室、中高生の吹奏楽部指導、教員・指導者向けの打楽器講座などなど、打楽器の楽しさを皆さんにお伝えすべく、幅広い打楽器活動を展開中。

